

杉山設計事務所

続けていくこと

循環するSDGs

社内研修（イチゴ農場）

絵本プログラム

- 主な取り組み内容**
- ・資格取得への支援
 - ・技術顧問による社内教育
 - ・絵本プログラムへの参加
 - ・ワーク・ライフ・バランス推進企業、女性活躍推進企業（名古屋より認定）

社会

MRによる施工支援



経済

主な取り組み内容

- ・BIM/CIMの活用
- ・ドローン運用
- ・XR技術（VR、AR、MR）への取り組み
- ・3Dプリンター導入
- ・取引先様との勉強会や現場・工場見学
- ・専門分野の資格取得推進

プレキャストPC技術を採用したCO2削減



主な取り組み内容

- ・大規模リニューアル工事への参画による老朽インフラの延命化ならびに持続可能な社会への貢献
- ・プレキャスト部材の積極的な設計・工場製作支援によるCO2削減

環境

「橋をつくる」ことと共に、続けていくことに心にかけていることがあります。

橋梁設計・サービスを通して、まちづくりに関わっていますが、橋をつくることだけを考えているわけではありません。

「橋をつくる前」と「橋をつくった後」がどのようにつながるのか、橋をつくるとともにつくっていることは何なのだろう、そしてそれがどのように続いていくのかを大事にする設計事務所であり続けていきます。

長く住み続けたいと思えるまちのためにも橋を探索します。

インフラの老朽化に伴い、維持管理・更新の時期を迎える時代が訪れています。

また、建設業界の技術者不足の問題は、生産性向上を求められることとなりました。

時代は変化し続けているのです。市民が暮らし続けやすく、社員が働き続けやすい。そのようなまちづくり、ひとづくりを大切にしたいサステナブルな会社であり、社会・経済・環境に目を向け、SDGsを意識することでさらに社会に対応する企業を目指します。

そのために、職場環境を想い、ステークホルダーを想い、地域社会や未来のことも思う。

それらが巡り巡って社員の笑顔となると信じています。

持続可能な社会形成のために、一人ひとりの学びを行動につなげる「行動するひとづくり」を意識して

ステークホルダーの皆様と共に積極的な取り組みを進めていければと考えています。

株式会社杉山設計事務所
代表取締役 杉山宜央

『社会』『環境』『経済』の3つの側面

SDGsでは3つの側面全てに対応することが求められています。17のゴールは3側面に属し相互に関わっています。それぞれの目標も密接に関連しており、バランスのとれた持続可能な開発を目指しています。貧困を解決するために経済成長を促し、教育や健康など幅広い社会的要請を充足しながら、気候変動と環境保護にも取り組む戦略が必要なことを示しています。



SDGsとは

「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」のことです。社会が抱える問題を解決し、世界全体で2030年をめざして明るい未来を作るための17のゴールと169のターゲットで構成されています。2015年9月、ニューヨーク国連本部において193の加盟国の全会一致で採択された国際目標です。

